

関西視察（京都府・大阪府・兵庫県）  
報告書

2021年12月2日（木）～3日（金）

沖縄経済同友会  
（共催）観光委員会、環境・エネルギー委員会

# 視察報告書 目次

I. 目的および概要.....	3
II. 視察団名簿.....	3
III. 視察先報告	
(1日目)	
1. 株式会社 RETOWN .....	4
2. 神戸液化水素荷役実証ターミナル、水素 CGS 活用スマートコミュニティ実証地 .	4
(2日目)	
3. 北野天満宮.....	5
4. 公益社団法人 京都市観光協会.....	5
5. 嵯峨野観光鉄道株式会社.....	6
6. 妙心寺退蔵院.....	6
7. ザ・ホテル青龍 京都清水.....	7
8. 京都経済同友会との夕食懇親会.....	7
IV. 視察時の感染予防策.....	8
V. 最後に（視察を終えて）.....	8

## I. 目的および概要

新型コロナウイルスの感染者数が減少傾向にあり、明るい兆しも見えてきた中、弊社から県経済・日本経済の活性化を目指し、経済活動再開の先進事例となるべく、観光委員会、環境・エネルギー委員会の共催で「関西視察」を開催した。那覇出発前、帰着後に参加者全員がPCR検査を受検し、全員の「陰性」を確認している。

当視察では、観光産業の先進地であり、コロナ禍のなか経済回復に向けいち早く手を打った京都市の観光戦略について学ぶことをメインとし、沖縄観光の復活及び産業成長に繋がる視察や、大阪では、地域活性化を目的に食を通じたまちづくり事業を行う企業視察を行い、兵庫では、脱炭素に向け注目される水素エネルギーについて視察を行った。

## II. 視察団名簿

- ① 常任幹事 前田 貴子 (株式会社ゆがふホールディングス 代表取締役 CEO 代行)
- ② 常任幹事 伊東 和美 (株式会社りゅうぎん総合研究所 代表取締役社長)
- ③ 常任幹事 熊谷 潤 (東京海上日動火災保険株式会社 沖縄支店 沖縄支店長)
- ④ 常任幹事 小林 文彦 (川崎重工業株式会社沖縄支社 支社長)
- ⑤ 常任幹事 杉本 健次 (株式会社 JTB 沖縄 代表取締役 社長執行役員)
- ⑥ 常任幹事 鈴木 英男 (住友商事九州株式会社 執行役員 沖縄支店長)
- ⑦ 常任幹事 棚野 浩 (沖縄ツーリスト株式会社 執行役員 SDGs 特命部長)
- ⑧ 常任幹事 仲本 善政 (株式会社おきぎんリース 代表取締役社長)
- ⑨ 常任幹事 東川平 信雄 (株式会社おきぎん経済研究所 代表取締役社長)
- ⑩ 会 員 亀田 浩 (オリオンビール株式会社 代表取締役専務兼専務執行役員 CFO)
- ⑪ 会 員 山盛 博文 (株式会社沖縄ダイケン 代表取締役社長)
- ⑫ 準 会 員 高野 衛 (沖縄日下部産業株式会社 営業部 部長)
- ⑬ 会員企業 笠井 康行 (株式会社沖縄ダイケン 常務取締役)
- ⑭ 会員企業 砂川 勉 (沖縄プラント工業株式会社 常務取締役)
- ⑮ 会員企業 丁野 良太 (オリオンビール株式会社 CSR・広報課 課長)
- ⑯ 会員企業 津波古 昌信 (株式会社大米建設 営業部 常務取締役)
- ⑰ 会員企業 宮国 英里子 (株式会社りゅうぎん総合研究所 調査研究部 部長)
- ⑱ 会員企業 山城 邦夫 (株式会社沖電工 常務取締役)
- ⑲ 事務局 佐久本 卓弥 (沖縄経済同友会 事務局長)
- ⑳ 事務局 宮里 眞子 (沖縄経済同友会 事務局研究員)

### Ⅲ. 視察先報告

#### 1. 株式会社 RETOWN (タグボート大正)

飲食店経営や食を通じたまちづくり事業を行う同社の取組について、松本篤 社長よりご講演いただき、その後、タグボート大正施設の視察を行った。同社は、人口減少という大正区の課題に対し、大正区が元来持っている要素を活かした新たな役割を付与することで交流人口や関係人口を増やし、定住人口増加に繋げることを目指した水辺の複合施設「タグボート大正」を2020年に開業。民間主導で地域事業者との連携を重視し、地域活性化に取り組んでいる。



(松本篤社長よりご講演)



(タグボート大正施設見学の様子)

#### 2. 神戸液化水素荷役実証ターミナル、水素 CGS 活用スマートコミュニティ実証地

脱炭素に向けた再生可能エネルギーについて学ぶべく、川崎重工業株式会社様にご協力いただき、水素戦略本部の吉山孝 副部長、足利貢 副部長、土屋昌義 担当部長より水素プロジェクトに関する取り組みについてご説明いただいた。その後、神戸液化水素荷役実証ターミナル及び、水素 CGS スマートコミュニティ実証サイトを視察した。



(事業説明の様子)



(神戸液化水素荷役実証ターミナル)

### 3. 北野天満宮

菅原道真公を祀り、学問の神様として信仰を集め全国約1万2千社の天満宮の総本社として知られる北野天満宮について、東川権禰宜よりご案内いただいた。北野天満宮の境内には、本殿を囲むように50の摂社と末社が建ち並び、菅原道真公ゆかりの方々をお祀りした社もありそのご神徳は多彩である。また、「天のエネルギーが満ちる聖地」として信仰されている。約350本のカエデが彩るもみじ苑の眺めは絶景で、秋の京都を体感することができた。



(見学時の様子)



(北野天満宮と紅葉をバックに集合写真)

※撮影時のみ、一時的にマスクを外しております。

### 4. 公益社団法人 京都市観光協会

京都市観光協会 兼 京都文化観光コンベンションビューローの赤星周平 事務局次長よりご講演いただき、京都市における観光産業の回復戦略や、コロナ前には戻さない新たな京都観光に向けた取り組みについて、また、DMO (Destination Management/Marketing Organization) の果たす役割について知見を深めることができた。



(赤星周平事務局次長よりご講演)



(講演時の様子)

## 5. 嵯峨野観光鉄道株式会社

コロナ禍以前は、年間 100 万人以上の観光客が利用する人気観光列車である。JR 山陰線の複線化によって使われなくなった線路の観光利用を目的として平成 2 年に社長以下スタッフわずか 9 名で発足した。井上敬章 社長より、「観光と交通」をテーマに同社の歴史を中心にご講演いただいた。講演終了後の質疑応答では「コロナ禍において、社員のモチベーションを下げない取り組み」等について意見交換を行い、その後視察団はトロッコ嵯峨駅より嵯峨野 5 号へ乗車し、車窓から見える素晴らしい景色を楽しんだ。



(井上敬章社長よりご講演)



(トロッコ列車乗車時の様子)

※撮影時のみ、一時的にマスクを外しております。

## 6. 妙心寺退蔵院

退蔵院は、妙心寺の塔頭のひとつで、応永 11 年（1404 年）に波多野重通が無因宗因を開山として創建し、後に妙心寺山内に移築された。方丈の西側にある狩野元信の作として伝わる枯山水庭園は、国指定名勝及び史跡である。また、日本の初期水墨画を代表する如拙作の国宝「瓢鮎図」を所有することでも有名である。昭和 40 年（1965 年）には、全国でも有数の昭和の名園といわれる「余香苑」が造られた。

現在、妙心寺退蔵院と京都造形芸術大学の共同のもと、若手絵師が退蔵院方丈(本堂)の襖絵を描くプロジェクトが進められている。文化財の保存と若手芸術家の育成について、松山大耕 副住職よりご講話頂き、その後、特別拝観を行った。



(松山大耕副住職より法話)



(妙心寺退蔵院前で集合写真)

※撮影時のみ、一時的にマスクを外しております。

## 7. ザ・ホテル青龍 京都清水

広瀬康則 総支配人より、ホテル概要についてご説明頂き、館内視察を行った。明治2年に開校し、昭和8年に移転新築された旧清水小学校の校舎を活用して建てられたリノベーションホテルである。傾斜地の特性を活かした棟の配置や洋と和のデザインを融合させた外観・内装など、特徴的な意匠を継承しながら、現代にふさわしい快適性をあわせもつ同ホテルを視察し、バラエティ豊かな宿泊施設について学ぶことができた。



(客室見学時の様子、外には五重の塔が見える)



(中庭から見たホテル外観)

## 8. 京都経済同友会との夕食懇親会

他同友会との交流を目的に、京都経済同友会との夕食懇親会を開催した。村田大介 代表幹事をはじめ9名の方にご出席いただき、両県の今後の経済発展に繋がる情報交換及び親睦を深める会となった。



(集合写真)

※撮影時のみ、一時的にマスクを外しております。



(懇親会時の様子)

